

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

## 事業報告目次

I. 法人運営・組織活動の推進	P 1 ~
II. まちづくり・地域福祉活動の推進	P 7 ~
III. 福祉サービス・利用支援活動の推進	P 28 ~
IV. 公益事業の実施	P 44 ~
V. 収益事業の実施	P 49 ~
VI. 共同募金運動の推進	P 50 ~
VII. 鶴ヶ島市赤十字奉仕団事務局	P 57 ~

<p style="text-align: center;"><b>I</b></p>	<p><b>法人運営・組織活動の推進</b></p> <p>地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人として、住民の参加と協働による法人経営を推進します。</p>
<p>事業計画・概要</p>	<p>事業実施状況</p>
<p><b>1 理事会、評議員会の運営</b></p>	<p>(1) 理事会</p> <p>①第1回理事会</p> <p>期日 令和2年5月14日</p> <p>出席 理事9人、監事2人</p> <p>内容 議案第1号 令和元年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会事業報告の承認について</p> <p>議案第2号 令和元年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計決算の承認について</p> <p>議案第3号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会定時評議員会の招集について</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面表決により実施</p> <p>②第2回理事会</p> <p>期日 令和2年7月28日</p> <p>出席 理事8人、監事1人</p> <p>内容 報告第1号 鶴ヶ島市民生委員推薦会委員の推薦について（報告）</p> <p>議案第1号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について</p> <p>議案第2号 鶴ヶ島市児童福祉審議会委員の推薦について</p> <p>報告事項 事業の進捗状況報告について</p> <p>③第3回理事会</p> <p>期日 令和2年10月20日</p> <p>出席 理事8人、監事1人</p> <p>内容 議案第1号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）について</p> <p>議案第2号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福</p>

祉協議会第2回評議員会の招集について

④第4回理事会

期日 令和2年12月3日

出席 理事9人、監事2人

内容 報告事項

- ・歳末援護事業の申請者と配分について
- ・第3次地域福祉活動計画策定について
- ・社会福祉協議会職員の給与改定について
- ・ファミリー・サポート・センター事業の受託変更について
- ・生活支援体制整備事業の受託変更について

⑤第5回理事会

期日 令和3年1月28日

出席 理事9人、監事2人

内容 議案第1号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）について

議案第2号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面表決により実施

⑥第6回理事会

期日 令和3年3月18日

出席 理事8人、監事2人

内容 議案第1号 鶴ヶ島市介護保険運営審議会委員の推薦について

議案第2号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第3号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

議案第4号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会役員等賠償責任保険の契約について

議案第5号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会職

員就業規則の改正について

議案第 6 号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会職員育児・介護等規程について

議案第 7 号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会職員研修規程について

議案第 8 号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会ハラスメントの防止に関する規程について

議案第 9 号 令和 3 年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会事業計画について

議案第 10 号 令和 3 年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計予算について

議案第 11 号 令和 2 年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第 3 号）について

議案第 12 号 令和 2 年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会第 4 回評議員会の招集について

## (2) 理事懇談会

期日 令和 3 年 3 月 3 日

出席 理事 7 人、監事 2 人

内容 説明事項

- ・令和 3 年度における主要事業について
- ・令和 2 年度事業の報告について

## (3) 評議員会

### ①第 1 回評議員会

期日 令和 2 年 5 月 29 日

出席 評議員 19 人

内容 議案第 1 号 令和元年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 2 号 令和元年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計決算の承認について

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面表決により実施

	<p>②第2回評議員会  期日 令和2年10月28日  出席 評議員17人  内容 議案第1号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）について</p> <p>③第3回評議員会  期日 令和3年2月8日  出席 評議員19人  内容 議案第1号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）について</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面表決により実施</p> <p>④第4回評議員会  期日 令和3年3月25日  出席 評議員12人  内容 議案第1号 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会定款の一部変更について  議案第2号 令和3年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会事業計画について  議案第3号 令和3年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計予算について  議案第4号 令和2年度社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会会計補正予算（第3号）について</p>
<p>2 各種委員会の運営</p>	<p>開催なし</p>
<p>3 法人経営及び財務監査</p>	<p>(1) 令和元年度決算監事監査  期日 令和2年5月7日  出席 2人  内容 ①令和元年度事業報告について  ②令和元年度会計決算について</p>

③令和元年度埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会社会福祉事業会計  
決算について

(2) 令和2年度上期監事監査

期日 令和2年11月17日

出席 2人

内容 ①令和2年度上期事業報告について

②令和2年度上期会計決算について

4 法人役職員等研修

開催なし

5 会員加入促進運動

社会福祉協議会活動の組織基盤の強化と地域の組織化を図るため、会員加入促進を展開し、様々な人の参加による福祉のまちづくりを推進します。

(1) 第1回福祉委員会議

社会福祉協議会の概要と福祉委員の役割、令和2年度社会福祉協議会会員加入促進運動及び赤い羽根募金・地域歳末たすけあい募金のご協力をお願いを行う。

期日 令和2年9月17日 ほか2日間(4回)

延べ参加人数 93人

(2) 令和2年度社会福祉協議会会費

区分	件数	口数
個人会員	3,933件	4,877口
	金額 2,438,500円	
団体会員	57件	97口
	金額 97,000円	
賛助会員	95件	110口
	金額 1,100,000円	
合計	4,085件	5,084口
	金額 3,635,500円	

(3) 令和2年度社会福祉協議会寄附金

区分	件数	金額
個人	21件	1,183,439円
団体	19件	523,931円

自治会	76件	212,340円
合計	116件	1,919,710円

(4) 令和2年度社会福祉協議会 物品、食料品寄附

①物品寄附 37件 (車いす、体温測定器、毛布、  
プリザーブドフラワー等)

②食品寄附 26件 (ベビーフード、缶詰、保存食等)

・食品等生活に関わるご寄付は、主に生活困窮者等の支援  
に充てています

支援件数は82件

### 6 社会福祉功労者の表彰

社会福祉に貢献した方々や団体等を表彰します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、式典「金婚祝賀式並びに社会福祉功績表彰式」は開催せず、感謝状やお祝い状等の配布を各世帯へ行った。

対象 感謝状 4団体

金婚お祝い 69組

### 7 結婚50年夫婦の顕彰

結婚50年を迎えられたご夫婦をお祝いし、地域社会のために尽くされたご功労を顕彰します

#### 【事業の成果及び今後の課題】

・コロナ禍ではあったが、記念品のお渡しのみとして「結婚50年夫婦の顕彰」の募集を行ったところ、前年度より申し込み数が増加した。



<p style="text-align: center;"><b>II</b></p>	<p><b>まちづくり・地域福祉活動の推進</b></p> <p>まちづくりや地域福祉活動に関する情報提供や市民意識の啓発を図るとともに、小地域ネットワーク活動や地域組織化による安心・安全なまちづくりを推進します。</p>
<p style="text-align: center;">事業計画・概要</p>	<p style="text-align: center;">事業実施状況</p>
<p><b>1 地域福祉計画と連携した地域福祉活動計画の推進</b></p> <p>地域福祉計画の重点目標の鶴ヶ島の“地域包括支援体制”の構築の推進を市と協働して行います。</p>	<p>(1) 地域福祉活動計画推進委員会 (鶴ヶ島市地域福祉審議会)</p> <p>① 第1回地域福祉活動計画推進委員会 期日 令和2年9月11日 参加 10人 内容 役員の選出について 地域福祉計画策定スケジュールについて</p> <p>② 第2回地域福祉活動計画推進委員会 期日 令和3年3月23日 参加 7人 内容・市民意識調査集計・分析結果について ・子ども意識調査(地域福祉アンケート)集計・分析結果について ・事業者(専門職)・団体アンケート集計・分析結果について ・今後のスケジュールについて</p> <p>(2) 地域福祉活動計画にかかる調査</p> <p>①市民意識調査 調査対象者：18歳以上の市内在住者を無作為抽出 調査人数：1,000人 有効回答数：515人 実施期間：令和2年10月14日(水)～31日(土)</p> <p>②事業者(専門職)・団体へのアンケート 対象団体：事業者(89法人195事業所)、団体・サロン(143団体) 実施期間：令和2年12月末</p> <p>③子ども意識調査 調査目的：子ども達に福祉について考えるきっかけづくり及び子どもならではの新しい発想を計画に盛り込み、鶴ヶ島市の未来像(めざすまちの姿)を明らかにする 調査対象者：小学校5年生、中学校2年生 学校を通じて依頼</p>

	<p>対象人数：約 1,125人  有効回答数：1,069人  質 問 数：6問  実施時期：11月26日（木）依頼～12月末</p> <p>(3) 鶴ヶ島版包括的支援体制構築にむけて</p> <p>① 地域福祉研修（重層的支援体制構築に向けて）  実施日・参加者：12月22日  1回目 午前10時 22人  2回目 午前11時 21人  対象：市・社協職員向け  講師：日本地域福祉研究所  （第3次地域福祉計画策定支援事業者）</p> <p>② 鶴ヶ島版包括的支援体制構築検討会  実施日：2月5日  対象：福祉関係各課 市・社協職員若手職員 10人  内容：業務上の課題等の情報交換</p> <p>【事業の成果及び今後の課題】</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と共に、計画策定に向けて協働することができた。</li> <li>・市民意識調査、事業者（専門職）・団体へのアンケート、子ども意識調査の3種の調査を実施し、地域ニーズを把握できた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括的支援体制及び重層的支援体制を計画上の位置づけについて、庁内の合意形成を図ること。</li> </ul>
<p><b>2 小地域組織化推進事業</b></p> <p>地域住民が主体となった地域支え合い協議会の活動を市と協働して支援することで、地域の支え合い・助け合いの仕組みを推進します。</p>	<p>(1) 地域支え合い協議会（8か所）</p> <p>①鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会  ②富士見地区地域支え合い協議会  ③サザン地域支え合い協議会  ④杉下地域支え合い協議会  ⑤西部地域支え合い協議会  ⑥つるがしま中央地域支え合い協議会  ⑦北地域支え合い協議会  ⑧すねおり地域支え合い協議会</p>

(2) 小地域活動組織化推進事業 助成金

新型コロナウイルス感染症拡大により、中止

(3) 地域支え合い協議会事務局長連絡調整会議への参加

開催 毎月1回

対象 市内8協議会事務局長等

(4) 助け合い隊の推進

①助け合い隊情報交換会の開催

開催 年3回(7月22日、10月20日、2月25日)

対象 7地区の地域支え合い協議会助け合い隊コーディネーター代表等

内容 情報交換等

② 助け合い隊活動実績(わかば・鶴二・サザン・杉下・西部・中央・北の7助け合い隊の合計)

・ありがとう券利用可能店舗 148店舗

・協力会員 527人・利用会員638人

・活動延べ日数2,027日・時間1945.6時間

・ありがとう券販売枚数 9,382枚・精算枚数 9,095枚

③すねおり助け合い隊立上げ支援

・期日 令和2年8月7日・9月17日・令和3年3月8日

内容 すねおり地域支え合い協議会幹事にて説明

・すねおり助け合い隊協力者説明会

期日 令和2年10月20日

参加者 23人

内容 地域支え合い協議会について

すねおり地域支え合い協議会のこれまで

助け合い隊について意見交換等

**【事業の成果及び今後の課題】**

<成果>

・すねおり助け合い隊の立上げ支援を実施し、設立に至った。令和3年4月からは、ほぼ全域で助け合い隊の対応が可能となった。

	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により、事業が縮小したが、コロナ禍でも実施できる事業の提案が必要である。</li> <li>・小地域福祉を意識した社協活動を意図的に展開する必要がある。</li> </ul>
<p><b>3 広報事業</b></p> <p>社会福祉協議会活動や地域福祉に関する広報「社協だより」(墨字版・点字版・音声版)を発行します。また、ブログやFacebookでは、日々の出来事やボランティア・市民活動の様子を伝える。</p>	<p>(1) 社協だより</p> <p>①社協だより「ふくしのまち」 No.141 発行日 令和2年7月1日 発行数 34,100部</p> <p>②社協だより「ふくしのまち」 No.142 発行日 令和2年11月1日 発行数 34,150部</p> <p>③社協だより「ふくしのまち」 No.143 発行日 令和3年3月1日 発行数 34,200部</p> <p>(2) ホームページ ※随時更新 URL <a href="http://www.tsurusha.or.jp/">http://www.tsurusha.or.jp/</a></p> <p>(3) つるがしまボランティア・まちづくりセンター ブログ (つながり日記) ※随時更新 URL <a href="http://blog.canpan.info/t_chiiki/">http://blog.canpan.info/t_chiiki/</a></p> <p>(4) Facebook ※随時更新 URL <a href="https://www.facebook.com/tsurushakyo/">https://www.facebook.com/tsurushakyo/</a></p> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、「結婚50年夫婦の顕彰」の申請者が増加し、市民へ広く広報ができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も社協の事業で市民が知りたい情報や役に立つ情報、また、逆に市民へ知ってほしい情報は何かを把握し発信する必要がある。</li> <li>・コロナ禍にあり、必要とされる支援やコミュニティが多様化しているため、紙での広報だけでなく、ホームページ、ブログ、フェイスブックと連携して最新情報を発信していきたい。</li> </ul>

<p>4 ふれあい・いきいきサロン推進事業</p> <p>様々な人が身近な場所に気軽にあつまり、楽しい仲間づくりができるよう、多様な内容で交流できるあたたかな居場所づくりを支援し拡充します。さらに、介護予防、孤立予防の観点から拡充を進めます。</p>	<p>(1) ふれあい・いきいきサロン登録団体 78団体</p> <p>(2) ふれあい・いきいきサロン活動助成金  申請団体 44団体  助成団体 38団体、辞退団体 6団体  助成総額 424,764円</p> <p>(3) ふれあい・いきいきサロンの推進  コロナ禍における情報提供  ・コロナ禍でもつながろう！交流事業について  ・サロン開催のためのガイドライン  ・令和2年度の熱中症予防行動（厚生労働省資料）  ・オンラインサロン体験のチラシ  ・生活支援コーディネーターだより「えん」16号  ・手作りマスク等の配布</p> <p>(4) ふれあい・いきいきサロン説明会  新型コロナウイルス感染症拡大により、中止</p> <p>(5) ふれあい・いきいきサロン勉強会  令和3年2月5日 オンライン開催  参加者9人  内 容 感染症予防対策について  講師 坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室 清野恵理子氏  ※講演内容を後日動画にして、サロン代表者等に配布</p> <p>(6) 集いの場の代表者会議 3回  日時 令和3年3月17日午前10時  3月17日午後  3月24日午後  内 容 講座「活動事例（コロナ禍での地域活動）」  講師 埼玉県社会福祉協議会  生活支援アドバイザー 矢部葉子氏</p> <p>(7) 埼玉県コバトン健康マイレージにおける県産農産物の寄贈  埼玉県が実施している埼玉県コバトン健康マイレージの  抽選当選者からの寄贈  申請団体 34団体、決定団体 18団体</p>
---	---

**【事業の成果及び今後の課題】**

<成果>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、休止をせざるを得ない状況が続いているが、コロナ禍でもつながる交流の提案ができた。
- ・助成金の活用により、感染対策の物品等を準備し、サロン活動を実施できたところもあった。

<課題>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、休止、休会、解散するサロンもあり、再開するための支援が必要である。

**5 住民参加型生活支援活動事業(つるがしまふれあいサービス)**

日常生活の援助の必要な利用会員と協力会員が生活支援活動の提供を行う相互扶助の仕組みにより、介護保険や障がい福祉サービス、子育て支援等の制度やサービスだけでは対応できない支援を行います。

(1) 会員登録者数

利用会員 147人(新規入会38人、退会15人)

協力会員 103人(新規入会18人、退会7人)

(2) 利用(活動)状況

延べ日数 2,365日

延べ時間 3,113時間

(3) 利用(活動)内容

	サービス内容	件数
1	食事の支度	265件
2	衣類等の洗濯・つくろい	332件
3	住居等の掃除・整理整頓	1,362件
4	外回りの掃除・整理・片付け	278件
5	生活必需品の買物	496件
6	余暇(囲碁・将棋等の相手)	5件
7	話し相手	328件
8	外出の付き添い	236件
9	妊産婦、乳幼児の軽易な支援	142件
10	その他(衣替え、大掃除など)	65件
11	キャンセル	16件
	合計	3,525件

(4) 協力会員研修会

①第1回協力会員研修会

期日 令和2年5月25日

内容 野菜ソムリエの話と決められた食材で調理

講師 福島 光子氏

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②第2回協力会員研修会

期日 令和2年9月29日

参加 15人

内容 アサーティブトレーニング

～自分の気持ちを上手に伝えるには～

講師 フェミニストセラピィなかま  
心理カウンセラー 花崎 晶氏

③第3回協力会員研修会

期日 令和2年10月8日

参加 9人

内容 アンガーマネジメント

～自分の気持ちを上手に伝えるには～

講師 日本アンガーマネジメント協会  
アンガーマネジメントアドバイザー 小川 政博氏

④第4回協力会員研修会

期日 令和2年11月26日

参加 13人 一般参加 2人

内容 アンガーマネジメント

～自分の気持ちを上手に伝えるには～

講師 日本アンガーマネジメント協会  
アンガーマネジメントアドバイザー 小川 政博氏

※研修会はシルバー人材センターと共催で実施

(5) 協力会員連絡会

①第1回協力会員連絡会

期日 令和2年4月3日

内容 Restory ホーム（仮称）の施設見学及び概要説明  
「もしもの時の話し合い」もしバナ

講師 もしバナマイスター 馬場 千草氏

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・コロナ禍でも、協力会員の理解により、数件の休止はあったものの、継続的に支援することができた。また、利用会員は38人入会し、23人増、協力会員も18人入会し、9人増えた。
- ・生活支援コーディネーターとの連携が図られ、利用、協力会員共にふれあい・いきいきサロンやボランティア活動に参加の機会が増えた。



	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大により、研修会、連絡会が実施できていないことから、会員同士の連携・協力が弱くなっている。</p>																																							
<p><b>6 共同募金配分金事業</b></p> <p>共同募金を活用して、ふれあい・いきいきサロンの推進や福祉教育体験学習推進校、ボランティア・市民活動団体、福祉事業所等を支援します。</p>	<p>(1) 赤い羽根募金配分</p> <table border="1" data-bbox="480 481 1361 745"> <thead> <tr> <th></th> <th>配分事業名</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ホームページ運営事業</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>福祉教育体験学習推進校等助成事業</td> <td>584,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>困窮者支援事業</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策事業</td> <td>200,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 赤い羽根募金・地域歳末たすけあい募金配分</p> <table border="1" data-bbox="480 846 1361 1111"> <thead> <tr> <th></th> <th>配分事業名</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>社協だより発行事業</td> <td>640,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ふれあい・いきいきサロン推進事業</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>小地域活動推進助成事業</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ボランティア・市民活動団体支援事業</td> <td>250,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 地域歳末たすけあい募金配分</p> <table border="1" data-bbox="480 1211 1399 1368"> <thead> <tr> <th></th> <th>配分事業名</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>金婚祝賀式並びに社会福祉功績表彰式</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>歳末援護事業</td> <td>1,000,000円</td> </tr> </tbody> </table>		配分事業名	助成額	1	ホームページ運営事業	40,000円	2	福祉教育体験学習推進校等助成事業	584,000円	3	困窮者支援事業	10,000円	4	新型コロナウイルス感染症対策事業	200,000円		配分事業名	助成額	1	社協だより発行事業	640,000円	2	ふれあい・いきいきサロン推進事業	300,000円	3	小地域活動推進助成事業	300,000円	4	ボランティア・市民活動団体支援事業	250,000円		配分事業名	助成額	1	金婚祝賀式並びに社会福祉功績表彰式	200,000円	2	歳末援護事業	1,000,000円
	配分事業名	助成額																																						
1	ホームページ運営事業	40,000円																																						
2	福祉教育体験学習推進校等助成事業	584,000円																																						
3	困窮者支援事業	10,000円																																						
4	新型コロナウイルス感染症対策事業	200,000円																																						
	配分事業名	助成額																																						
1	社協だより発行事業	640,000円																																						
2	ふれあい・いきいきサロン推進事業	300,000円																																						
3	小地域活動推進助成事業	300,000円																																						
4	ボランティア・市民活動団体支援事業	250,000円																																						
	配分事業名	助成額																																						
1	金婚祝賀式並びに社会福祉功績表彰式	200,000円																																						
2	歳末援護事業	1,000,000円																																						
<p><b>7 歳末福祉（援護）事業</b></p> <p>歳末たすけあい運動として歳末福祉事業や歳末援護事業を実施し、必要な支援を行います。</p>	<p>(1) 歳末援護事業意見交換会</p> <p>期日 令和2年9月11日</p> <p>参加 12人（民生委員・児童委員、社協理事等）</p> <p>内容 歳末援護事業の概要、今年度の実施について</p> <p>(2) 歳末援護事業（おこめ券）</p> <p>対象 下記の①又は②に該当し、申請があった方</p> <p>①低所得（住民税非課税）の世帯のうち、市内に住所があり、次のいずれかに該当する方と同居している世帯及び一人暮らしの方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上の方</li> </ul>																																							

- ・身体障害者手帳1級もしくは2級を所持する方
- ・療育手帳（みどりの手帳）○AもしくはAを所持する方
- ・精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方
- ・生活保護世帯に準じた低所得の世帯で、小・中学生のいる世帯（準要保護世帯）

②児童扶養手当の全部支給世帯

援護品 おこめ券（配布数は世帯構成員による）

申請期間 令和2年10月16日～11月24日まで

配布数

区 分	件 数	援護品（お米券） 金額
75歳以上の方	296件	1,480,000円
障害者世帯	44件	22,000円
準要保護世帯	2件	1,000円
児童扶養手当全部支給世帯	20件	10,000円
合 計	362件	1,513,000円

※援護品の金額は、購入価格（1枚あたり500円）で計算しています。

(3) 物品等緊急一時支援事業

生活保護制度や彩の国あんしんセーフティネット事業、生活福祉資金などの支援を得るまでの間に、生活維持が困難な方を対象とした日常生活用品等を支援（1世帯3万円まで）

支援件数 1件 420円（交通費として）

(4) 年末年始における緊急的な相談支援

期間 令和2年12月1日～令和3年1月31日

対象 新型コロナウイルスの影響等やむを得ない事情により、緊急的な対応が必要で他の制度や手立ての対象とならない方。生活困窮状態にあり、就労の機会を得るために必要な面接や試験等において、身の回り品の準備ができない方。

内容 年末年始に生活困窮状態に陥り他の制度や手立て

での支援がない方への緊急支援。(ライフラインの復旧、食料確保等)

## 8 福祉機器等貸出事業

車いすや介護ベッドを必要な方に貸し出します。

### (1) 貸出件数

区分	件数	延べ使用台数
車いす	個人 107件	107台
	団体 7件	35台
介護ベッド	0件	0台

### (2) ボランティアによる整備作業

月	日数	協力者(延べ)
4～3月	6日	18

協力ボランティア 3人

例年は月1回の実施としていたが、緊急事態宣言中は中止とした。

### (3) ボランティア・職員間ミーティング 2回開催

期日 令和2年10月、12月

参加者 延べ13人(うち、社協担当者7人)

内容 事務連絡、意見交換等

#### 【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

・ボランティアによる車いすの整備や古い車いすの廃棄が進み、貸し出し可能な車いすの数量が明らかになった。

<成果>

・車いすやベッドの貸し出しニーズについて、行政や専門機関とも連携して確認する必要がある。

## 9 3人乗り自転車貸出事業

子育て支援の一環として、1歳以上6歳未満の子どもを2人以上養育している子育て世帯を対象として、

### (1) 3人乗り自転車貸出件数

貸出件数	延べ使用台数
14件	14台

#### 【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

・協力いただいている自転車店の紹介を行うことができた。

<p>3人乗り自転車を貸し出します。</p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、ニーズがどの程度あるのかを把握し、今後の事業の方向性について検討する必要がある。</li> </ul>
<p><b>10 障がい者支援の地域づくり事業</b></p> <p>鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会と協働して、すべての障がい者向けの社会参加、余暇活動支援を行います。さらに、事業所や関係機関、障がい者、ボランティア団体等の連携を強化し、すべての人々が尊厳と生きがいを持って安心して暮らすことのできる地域づくりを推進します。</p>	<p>鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会（Sネット）支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 幹事会 6月4日・7月1日・8月5日・1月12日</li> <li>(2) 運営委員会 7月7日・9月1日</li> <li>(3) 第8回定期総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面による議決にて実施</li> </ul> </li> <li>(4) 余暇活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①料理教室 中止 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> </ul> </li> <li>②ヨガ体験教室（農業交流センター広場） <ul style="list-style-type: none"> <li>7月5日より（月1回）*9月4日のみ中止</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(5) 障害者団体事業所等掲示展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>①市役所ロビー 11月24日（火）～12月4日（金） <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者事業所等販売も併せて実施</li> </ul> </li> <li>②中央図書館 12月9日（水）～12月20日（日）</li> </ul> </li> <li>(6) 防災 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため防災訓練中止</li> </ul> </li> <li>(7) 販売プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>7月から、毎週金曜日 市役所ロビー</li> </ul> </li> <li>(8) 障害者交流フェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>日時 2月28日 オンラインによる学習会と動画による障害者団体紹介動画</li> <li>講演「障害者権利条約とは？」</li> <li>講師 佐藤 久夫（日本社会事業大学名誉教授）</li> <li>参加者 47人</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式にそって、障害者交流フェスティバルを動画配信により実施できた。また、障害者団体等の動画を作成し、配信することができた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害当事者や障害者支援をしたい個人もつなぐことができ、活動が幅広くなっており、障害者理解が深まっている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながっていない事業所や団体とつながり、さらに障害者理解を推進する必要がある。</li> </ul>																		
<p><b>1 1 婚活支援事業</b> 独身男女の出会いの場をつくることを目的に結婚活動の支援を行います。</p>	<p>(1) 登録状況 登録者 男性143人、女性112人 合計 255人</p> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴ヶ島市が埼玉県域で展開している「出会いサポートセンター」に加入したことから、市民が加入しやすくなった。</li> <li>・婚活支援センターのあり方を考えていく必要がある。</li> </ul>																		
<p><b>1 2 鶴ヶ島市視覚障害者生活支援事業</b> (鶴ヶ島市受託事業)</p> <p><b>1 3 点字と声の広報つるがしま発行業務</b> (鶴ヶ島市受託事業)</p>	<p>(1) 奉仕員養成事業【点字講習会】 5回のうち3回中止</p> <p>(2) 奉仕員養成事業【音訳講習会】 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(3) 視覚障害者交流事業 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>(4) 視覚障害者情報保障事業 (「広報折込等」)</p> <p>①取扱件数 14件</p> <p>① 製作部数</p> <table border="1" data-bbox="523 1451 1410 1554"> <thead> <tr> <th>点字版</th> <th>音訳版</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44部</td> <td>213部</td> <td>257部</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 点字と声の広報つるがしま発行</p> <p>①依頼件数</p> <table border="1" data-bbox="523 1711 1375 1814"> <thead> <tr> <th>定例号</th> <th>臨時号</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12件</td> <td>1件</td> <td>13件</td> </tr> </tbody> </table> <p>②製作部数</p> <table border="1" data-bbox="523 1868 1410 1980"> <thead> <tr> <th>点字広報</th> <th>声の広報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65部</td> <td>206部</td> <td>271部</td> </tr> </tbody> </table>	点字版	音訳版	合計	44部	213部	257部	定例号	臨時号	合計	12件	1件	13件	点字広報	声の広報	合計	65部	206部	271部
点字版	音訳版	合計																	
44部	213部	257部																	
定例号	臨時号	合計																	
12件	1件	13件																	
点字広報	声の広報	合計																	
65部	206部	271部																	

14 点字と声の  
つるがしま市議会  
だより発行業務（鶴  
ヶ島市受託事業）

(1) 点字と声のつるがしま市議会だより発行

①依頼件数

定例号	臨時号	合計
4件	0件	4件

②製作部数

点字広報	声の広報	合計
20部	67部	87部

15 ボランティア  
ア・市民活動推進事  
業

ボランティア・市民活  
動に関する研修やボ  
ランティア団体の支  
援を通じてボランテ  
ィア・市民活動を広め  
ていきます。

(1) ボランティア（個人・団体）登録

① 個人登録 37人

② 団体登録 44団体 1,427人

(2) ボランティア活動保険（全国社会福祉協議会）

区分	基本タイプ	天災タイプ
加入者数	573	95

(3) ボランティア行事用保険（全国社会福祉協議会）

取扱件数 13件（保険加入団体 10団体）

(4) 福祉サービス総合補償（全国社会福祉協議会）

取扱件数 16件（保険加入団体 16団体）

(5) 送迎サービス補償（全国社会福祉協議会）

取扱件数 1件（保険加入団体 1団体）

※ボランティア・市民活動団体助成事業は新型コロナウイルス感染症拡大  
のため中止

16 ボランティ  
ア体験学習事業

ボランティアや市民  
活動団体の協力によ  
り、学生や地域活動の  
初心者を対象とした  
ボランティア体験プ

(1) 「おうちでボランティア（社会貢献）活動！コロナに打ち勝  
つ、おうち活動！」 ～彩の国ボランティア体験プログラム  
2020 in 鶴ヶ島～  
期間 令和2年7月20日～9月30日  
令和2年5月～令和3年2月  
参加者 139人  
プログラム数 計13

プログラムを実施します。

プログラム区分

プログラム区分	プログラム数
1 高齢者関係	7
2 障害児・者	0
3 子ども・保育	6
4 医療・保険	1
5 国際交流	0
6 環境関係	4
7 災害関係	1
8 まちづくり関係	6
9 スポーツ関係	0

※プログラム内容により重複あり

プログラム内容

- ・おうちで作って、寄付しよう！（高齢者施設のお祭り飾りつけ）

分野 高齢 参加者 55人

内容 自宅等で秋祭り使う輪飾りの作成。（コロナのため、ユニットごとの使用をするため、大量に必要となった）

- ・オンライン読み聞かせ

分野 子ども・まちづくり 参加者 47人

内容 聖学院大学生と笹久保さくら保育園をオンラインでつなぎ、読み聞かせや遊びの場の提供と交流の実施など18件

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・自宅等のできる内容のボランティア活動の提案ができ、様々な機関がつながるきっかけとなった。

<課題>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア・市民活動が縮小ぎみになっている。新しい生活様式に併せた活動の提案が必要である。

17 福祉教育・体験学習推進校等指定事業

(1) 福祉教育・体験学習推進校等指定事業

① 期日 令和2年5月14日

② 申請 13校

(小学校8校、中学校4校、高等学校1校)

小中高等学校・保育園・幼稚園が主体的に行う福祉教育活動の推進を目的としてサービスラーニングの視点を入れた福祉教育実践に対して、社会福祉協議会が支援します。

(2) 福祉教育・体験学習推進校等指定事業実施校 助成金

	学校名	申請額	決定額
1	鶴ヶ島 清風高等学校	70,000円	38,836円
2	杉下小学校	59,000円	53,000円
3	鶴ヶ島第二小学校	30,000円	9,098円
4	西中学校	70,000円	59,000円
5	藤中学校	70,000円	41,016円
6	南中学校	70,000円	59,000円
7	藤小学校	65,000円	36,511円
8	新町小学校	68,000円	57,000円
9	長久保小学校	45,000円	45,000円
10	鶴ヶ島中学校	69,000円	37,306円
11	南小学校	69,000円	58,000円
12	鶴ヶ島第一小学校	70,000円	59,000円
13	栄小学校	52,000円	50,000円
合 計		807,000円	602,767円

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・ボランティア活動への助成事業を行ったことにより、活動の周知や活性化ができた。
- ・施設へのボランティア活動へ、個人や団体の活動の他に、学校からの協力を得る事ができた。
- ・ボランティア活動保険等の補償制度を斡旋し、活動を支援している。



	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ボランティア懇談会が実施できず、ボランティア活動団体からの意見を聴くことができていない。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティア・市民活動が自粛されており、活動の不活性状態が続いているため、どのように支援をしていくか課題となる。</li> </ul>																						
<p><b>18 福祉教育・ボランティア学習推進事業</b></p> <p>小学校や中学校で実施している福祉教育・ボランティア体験学習を促進するために、地域の団体、障がい者、ボランティア、市民活動団体、福祉施設等と連携して、福祉教育実践の機会を拡充します。</p>	<p>(1) 福祉教育・ボランティア学習研修会 新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止</p> <p>(2) 福祉の心を育む交流事業</p> <p>①特別養護老人ホームみどりの風鶴ヶ島と鶴ヶ島第二小学校 ②特別養護老人ホームみどりの風鶴ヶ島と藤小学校</p> <p>(3) 福祉図書デリバリー 南小学校3年生 9月～10月</p> <p>(4) 福祉体験講座実施</p> <table border="1" data-bbox="576 1196 1361 1771"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>命の教育・保育・子育て理解</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>認知症・高齢者理解</td> <td>496</td> </tr> <tr> <td>視覚障害者の理解</td> <td>296</td> </tr> <tr> <td>聴覚障害者の理解</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>知的障害者の理解</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>共同募金運動の理解</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>環境活動</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>地域福祉</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>減災・防災・災害ボランティア</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,512</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により、学校の授業数が切り詰められる中でも、多様な福祉教育・ボランティア学習が取り組まれた。</li> </ul>	内容	対象人数(人)	命の教育・保育・子育て理解	108	認知症・高齢者理解	496	視覚障害者の理解	296	聴覚障害者の理解	20	知的障害者の理解	60	共同募金運動の理解	54	環境活動	7	地域福祉	431	減災・防災・災害ボランティア	40	合計	1,512
内容	対象人数(人)																						
命の教育・保育・子育て理解	108																						
認知症・高齢者理解	496																						
視覚障害者の理解	296																						
聴覚障害者の理解	20																						
知的障害者の理解	60																						
共同募金運動の理解	54																						
環境活動	7																						
地域福祉	431																						
減災・防災・災害ボランティア	40																						
合計	1,512																						

	<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な福祉教育・ボランティア学習実践を共有する仕組みが必要である。</li> <li>・学校と地域の連携の仕組みを作る必要がある。</li> </ul>														
<p><b>19 災害対策事業</b> 災害ボランティアセンターの設置運営の訓練や被災地支援活動を実施します。</p>	<p>(1) 防災訓練 市や地域支え合い協議会の防災訓練中止のため、災害ボランティアセンターの設置運営訓練中止</p> <p>【事業の成果及び今後の課題】</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書の締結推進」が示され、鶴ヶ島市での締結が急がれる。</li> <li>・災害時等職員の初動対応の確認が必要である。</li> </ul>														
<p><b>20 彩の国あんしんセーフティネット事業</b> 県内社会福祉法人が基金を出資して、各種制度の狭間にある生活困窮者への相談支援、現物給付を行います。</p>	<p>実施件数 1件（生活困窮者への生活資金援助） 食品寄付（受取り） 5件 セブンイレブン商品寄贈 SAITAMA プロジェクト</p>														
<p><b>21 鶴ヶ島市ファミリー・サポート・センター運営事業（鶴ヶ島市受託事業）</b></p>	<p>(1) 会員数</p> <table border="1" data-bbox="480 1704 1382 1809"> <thead> <tr> <th>利用会員</th> <th>提供会員</th> <th>両方会員</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>286</td> <td>97</td> <td>8</td> <td>391</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 活動状況</p> <table border="1" data-bbox="480 1912 1382 2011"> <thead> <tr> <th>預かり</th> <th>送迎</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39回</td> <td>379回</td> <td>418回</td> </tr> </tbody> </table>	利用会員	提供会員	両方会員	合計	286	97	8	391	預かり	送迎	合計	39回	379回	418回
利用会員	提供会員	両方会員	合計												
286	97	8	391												
預かり	送迎	合計													
39回	379回	418回													

	<p>(3) 会員研修会、会員交流会、保育サービス講習会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から延期</p> <p>(4) ファミリー・サポート・センター広報（ファミサポ通信） 令和3年3月発行 1,000部</p> <p>(5) 連絡調整会議 2回開催</p> <p><b>【事業の成果】</b></p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、保育サービス講習会などは中止となったが、新たな委託事業者との引継ぎは無事に完了することができた。</p>
<p><b>2.2 生活支援体制整備事業（鶴ヶ島市受託事業）</b></p> <p>生活支援等の担い手の発掘や養成、介護予防・日常生活支援総合事業に係るニーズとサービスの把握やマッチング、多様なサービス主体のネットワーク化を図るため生活支援コーディネーターを設置し、地域包括ケアシステムを構築する地域づくりを推進します。</p>	<p>(1) 第1層生活支援体制推進協議会会議 第1回鶴ヶ島市第1層生活支援体制推進協議会 期 日 令和3年3月22日 場 所 市役所5階 会議室 内 容 令和2年度生活支援体制整備事業の報告について 令和3年度生活支援体制整備事業について 参加者 委員13人、事務局社協2人、市3人</p> <p>(2) 4市2町合同生活支援体制整備協議体活動報告書（4市2町合同研修の代替事業） 事例等の合同活動報告書を作成</p> <p>(3) 情報冊子等の作成（情報の見える化）</p> <p>①生活支援コーディネーターだより「えん」の発行 ・隔月発行 11～16号発行</p> <p>②生活支援ガイドブック、さあ、知ろう！ ・ホームページに鶴ヶ島の生活に役立つ情報（社会資源）を掲載 ・掲載内容 体を動かしたい19、交流したい17、活躍したい13、生活支援の活動団体4、買い物支援8、その他15 (令和3年3月現在)</p>

③集いの場の市民向けガイド 活動拠点マップ

- ・ホームページに掲載
- ・活動拠点マップ「さあ行こう！！」2020作成・配布
- ・掲載数 東部地区 46か所、西部地区34カ所
- ・北部地区 44か所、南部地区38か所

(4) 第2層生活支援体制推進協議会の設置・運営

① 南部地区 (いきいき)

- ・第2層生活支援体制推進協議会コアメンバー情報交換会 1回、会議 1回
- ・プロジェクト 「三ツ木座談会」  
コロナのため座談会は開催出来なかったが、地域福祉アンケートを実施。

② 西部地区 (かんえつ)

- ・第2層生活支援体制推進協議会コアメンバー情報交換会 1回
- ・プロジェクト 「ひまわりサロン」  
コロナ禍のためサロン定期開催は出来なかったが、中学生との交流事業を単発で実施。

③ 東部地区 (ぺんぎん)

- ・第2層生活支援体制推進協議会コアメンバー情報交換会 1回、会議 1回
- ・プロジェクト 「壮年塾 Gのつどい」  
活動内容 青空マルシェなど8回

④ 北部地区 (いちばんぼし)

- ・第2層生活支援体制推進協議会コアメンバー情報交換会 1回、会議 1回

(5) 養成講座 (担い手の発掘、養成、サービスの創出)

①移動支援の勉強会

②オンライン体験講座 (ZOOM)

③中学生ゴミ出しボランティア調整

④地域De交流 コロナ禍でもつながろう 周知活動支援

対象者 登録サロン団体78団体

⑤介護者のつどい

⑥だっこうさこ作り講座 2回

(6) 生活支援コーディネーターによるマッチングの概要

南部地区担当 個別支援 16件

西部地区担当 個別支援 38件

東部地区担当 個別支援 15件

北部地区担当 個別支援 30件

(7) 地域ケア会議への参加

鶴ヶ島市地域ケア会議（自立支援型）

※2月よりオンラインと集合型のハイブリッド開催

(8) 地域の居場所、集いの場支援、集いの場・住民主体の介護予防の場の紹介等の働きかけ

①ふれあい・いきいきサロン

②サロン立ち上げ支援 5団体

③コロナ禍により中止となった地域活動の支援

手作りマスク、アクリルたわしづくり、活動情報の発信等

④「介護予防の場づくり」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

⑤高齢者等と学校との連携

鶴ヶ島中学校 地域のゴミ捨て活動の調整、地域住民との交流を調整など5学校

(10) 地域密着型施設部会への支援

合同作品展の表彰、のど自慢大会、定例会のオンライン化支援

(11) ケアマネ連絡会への支援

研修会 オンラインの場づくり

**【事業の成果及び今後の課題】**

<成果>

- ・コロナ禍でも、新しい生活様式に沿った活動内容を提案でき、実際に活動を行っているサロン等もでてきた。
- ・ネットワークづくりを強みとして、様々な関係機関のコーディネートを行うことができた。

<課題>

- ・令和3年度は生活支援コーディネーターの委託が終了するため、これまで行ってきた支援が継続できるかが課題となっている。
- ・地域包括支援センター等との連携の仕組みが必要である。

<p style="text-align: center;"><b>Ⅲ</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>福祉サービス・利用支援活動の推進</b></p> <p style="text-align: center;">住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、日常生活圏域に根ざした福祉サービス・利用支援活動を推進します。</p>																		
<p>事業計画・概要</p>	<p style="text-align: center;">事業実施状況</p>																		
<p><b>1 助け合い資金貸付事業</b></p> <p>生活困窮世帯の生活の安定と自立を支援します。</p>	<p>(1) 助け合い資金貸付事業（生活保護つなぎ資金）</p> <p>貸付件数 20件</p> <p>相談 23件</p>																		
<p><b>2 生活福祉資金貸付事業（埼玉県社協受託事業）</b></p> <p>生活福祉資金貸付制度要綱に基づき、生活困窮世帯の自立を支援します。</p>	<p>(1) 生活福祉資金貸付事業</p> <table border="1" data-bbox="555 813 1370 1283"> <thead> <tr> <th>資金種類</th> <th>貸付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合支援資金（特例貸付を含む）</td> <td>479件</td> </tr> <tr> <td>福祉資金（福祉費）</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金（特例貸付を含む）</td> <td>498件</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活資金</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>臨時特例つなぎ資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>離職者支援資金</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>993件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した世帯への生活福祉資金特例貸付は、緊急小口資金と総合支援資金を合わせて、977件の貸付を行ったが、今後この貸付金の償還事務が発生してくる。</p>	資金種類	貸付件数	総合支援資金（特例貸付を含む）	479件	福祉資金（福祉費）	0件	緊急小口資金（特例貸付を含む）	498件	教育支援資金	8件	不動産担保型生活資金	3件	臨時特例つなぎ資金	0件	離職者支援資金	5件	合 計	993件
資金種類	貸付件数																		
総合支援資金（特例貸付を含む）	479件																		
福祉資金（福祉費）	0件																		
緊急小口資金（特例貸付を含む）	498件																		
教育支援資金	8件																		
不動産担保型生活資金	3件																		
臨時特例つなぎ資金	0件																		
離職者支援資金	5件																		
合 計	993件																		
<p><b>3 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社協受託事業）</b></p> <p>判断能力に不安がある人などが安心して生活が送れるよう定期的な訪問を行い、福</p>	<p>(1) 問合せ・相談件数</p> <p>①専門員による相談援助</p> <table border="1" data-bbox="496 1742 1209 1899"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>認知症 高齢者</th> <th>知的 障がい者</th> <th>精神 障がい者</th> <th>不明・ その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>523</td> <td>157</td> <td>189</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 873件</p>	対象	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	不明・ その他	件数	523	157	189	4								
対象	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	不明・ その他															
件数	523	157	189	4															

祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理を支援します。また、市民後見人養成講座の修了者には生活支援員として実践の活動の場を提供します。

②生活支援員による活動

対象	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	不明・ その他
件数	69	14	30	0

合計 113件

(2) 契約実績

対象者	前年度末 契約数	新規	解約	年度末 契約数
認知症高齢者	9	10	3	16
知的障がい者	2	2	2	2
精神障がい者	4	0	0	4
その他	0	0	0	0
合計	15	12	5	22

(3) 生活支援員配置数

10人（法人後見事業で委嘱している者6人を含む）

(4) 令和2年度地域権利擁護推進会議ブロック会議への参加

期日 令和2年6月11日

内容 事例検討、情報交換

参加 第3ブロック社協（8市3町）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

(5) 生活支援員研修会

期日 令和3年2月11日

場所 市役所5階 会議室

内容 PAS ネットの取り組みと成年後見制度

講師 福島健太氏 特定非営利活動法人 PAS ネット理事長

S I N法律労務事務所 弁護士

※緊急事態宣言発令を踏まえ急遽中止。

**【事業の成果及び今後の課題】**

＜成果＞

- ・専門員による相談援助、生活支援員による活動が前年度よりも増加している。判断能力に不安がある方の対応をきめ細かく対応できた。
- ・令和2年度の契約締結者数については前年度と比べ22人と7人増加した。

＜課題＞

- ・契約者の中に債務を抱えているケースなど、日常的金銭管理業務だけでは対応できないケースがあり、支援計画の定期訪問以外での対応が必要となるケースがある。
- ・親族がいても、本人との関係性が悪化していたり、遠方に住んでいるため頻回な対応ができないなどの理由で関係機関から、事業利用の相談が増加傾向にある。今後独居の高齢者の増加に伴い、相談が益々増加してくることが予想される。

**4 鶴ヶ島市手話通訳事業（鶴ヶ島市受託事業）**

聴覚、音声及び言語機能障がい者の家庭生活や社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者の派遣や、手話技術の習得のための手話講習会を実施します。

(1) 手話通訳者

専任手話通訳者 4人（正規職員1人、嘱託職員3人）  
手話通訳者 10人（臨時職員7人、嘱託職員3人を含む）

(2) 手話通訳者派遣実績

区 分	手話通訳者 派遣件数	手話通訳者 延べ派遣人数
生 活	74件	95
介 護	56件	89
医 療	311件	323
職 業	14件	17
教 育	27件	46
会 議	31件	56
講演会等	5件	10
講 座	0件	0
体験講座	0件	0
行 事	9件	12
その他	1件	1
合 計	528件	649



(3) 鶴ヶ島市手話通訳者派遣事業運営委員会

①第1回運営委員会

期日 令和2年5月19日

内容 令和元年度事業報告

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から  
書面報告により実施

②第2回運営委員会

期日 令和2年8月11日

内容 遠隔手話サービス運用内容(案)について  
令和2年度第1回利用者懇談会について

場所 市役所6階 会議室

出席 7人

②第3回運営委員会事前打合せ

期日 令和3年2月22日

内容 第2回利用者懇談会の中止について

令和3年度第1回運営委員会及び第1回利用者懇談会日程  
について他

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から第3回運  
営委員会は書面報告により実施

(4) 手話通訳者派遣事業利用者との懇談会

①第1回利用者懇談会

期日 令和2年9月13日

内容 遠隔手話サービスの説明と体験  
発熱時のFAX問診表について

場所 市役所6階 食堂

出席 29人

②第2回利用者懇談会

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(5) 手話通訳者研修会

期 日	内 容	参 加
令和2年6月27日	報告	6
令和2年7月27日	遠隔手話サービスの報告等	6
令和2年9月20日	事例検討	6
令和2年11月18日	講演：通訳者の健康について	6
令和2年12月12日	緊急時マニュアルについて	6
令和3年3月28日	派遣事業を円滑にするための協議	6

※三市合同役員会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、市の研修会を6回とした。

(6) 連休期間における緊急体制

連休中の緊急な手話通訳依頼に備え、手話通訳者が待機をし。

期日 令和2年5月2日から5月6日まで

令和2年12月29日から令和3年1月3日まで

連休中の緊急時による通訳要請はなし

(7) 遠隔手話サービス

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、医療通訳について遠隔手話サービスを実施する予定

6月 タブレット5台購入

7月～医療機関へ説明 試行するも通信状況が悪く繋がらず

10月～3ヶ所の医療機関へ説明 随時試行開始も実施には至らず

(8) 頸肩腕健診

通訳者の健康状態把握の観点から、通訳者の職業病と言える頸肩腕症候群予防のための健診を年1回実施

今年度より、公益財団法人埼玉県健康づくり事業団が担当となった

判定結果

異常なし	特に問題になる所見なし	3人
------	-------------	----

軽度異常	特に日常生活に差し支えなし。自覚症状のある時は医師に要相談。	1人
要経過観察	作業の影響による軽度の所見あり。生活習慣の見直しが必要。	3人
要精密検査	作業の影響による疑わしい所見あり、精密検査が必要。	0人
要受診	作業の影響による異常な所見あり。医師による指導や治療が必要。	2人
治療中	作業の影響による症状や疾患ですでに医療機関で治療を受けている。	2人

※1人に対し複数の所見あり

### 鶴ヶ島市手話講習会実施事業（鶴ヶ島市受託事業）

地域に手話を普及する、および手話通訳者を育成するため手話講習会を実施します。

(1) 手話啓発講座

(2) 鶴ヶ島市手話講習会 入門

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

(3) 鶴ヶ島市手話講習会 基礎

期日 令和2年9月3日から令和3年1月14日まで

全27回 計54時間

受講 5人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から縮小開催

(4) 手話通訳者を目指す学習会

期日 令和2年7月3日、8月21日、9月11日

10月2日、10月23日、11月13日

11月27日

令和3年1月15日、2月19日、3月12日

全11回

場所 市役所6階会議室 他

受講 4人

(5) 関係機関対象講座

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

<p><b>5 鶴ヶ島市手話通訳者設置事業</b>  <b>(鶴ヶ島市受託事業)</b></p> <p>聴覚障がい者等の相談や手続きを円滑に行うため、手話通訳者を市役所内に配置します。</p>	<p>(1) 庁舎内通訳  利用者 335人 (窓口通訳、電話通訳など)</p> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者の延べ派遣人数が649人となり、派遣内容が以前に比べ多岐に渡っている。ろう者が社会に参加しやすい環境が整ってきたことや手話通訳者の認知度が広まってきている。</li> <li>・生活、医療、教育の依頼が多く、手話通訳派遣はろう者の生活に欠かせないものとなっている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章力が弱く情報の少ないろう者に対し、適切な情報を提供する必要がある。</li> <li>・手話通訳者の後継者の育成・確保が課題である。</li> </ul>
<p><b>6 鶴ヶ島市立障害者生活介護施設の経営</b>  <b>(鶴ヶ島市指定管理事業)</b></p> <p>日常生活全般に介助や見守りが必要な障がい者へ、包括的な視点による支援を提供します。利用者が地域において生きがいを感じながら生活を送ることができるよう、健康の増進・様々な社会的体験・生産活動を通じて、地域の人々との交流の機会などを提供します。</p>	<p>(1) 設置場所 鶴ヶ島市三ツ木935-1</p> <p>(2) 開所時間 午前9時～午後4時</p> <p>(3) 利用状況  利用者人数 19人 (新規3人・退所1人)  延べ利用人数 3,552人  ※延べ利用人数のうちの184人は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛期間中に家庭療育をした人数。電話、訪問にて個別対応。</p> <p>(4) 職員体制  正規職員4人、契約職員1人、非常勤職員10人</p> <p>(5) 実施業務  ①職員会議  ・全体会議：4回 (職員全員)  ・運営会議：8回 (常勤職員)</p>

②健康管理

- ・健康診断：1回
- ・インフルエンザ予防接種：1回
- ・身体チェック：毎日
- ・体重測定：月1回

③通年作業

- ・リネン作業：随時
- ・雑誌付録の分解作業：随時
- ・回収作業：随時
- ・農作業：週1回・野菜の販売：週3回程度  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より対面販売は自粛無人直売のみ実施
- ・個別支援計画に基づいたカリキュラム：随時

④通年活動

- ・レクリエーション：9回  
内容 じゃがいも掘り、七夕まつり、流しそうめん、さつまいも掘り、運動会、焼き芋パーティー、クリスマス会、節分、ひな祭り
- ・音楽活動：週1回

⑤きいちごパーティー：未実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑥個別外出行事：未実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑦家族会

期日 令和2年6月26日

内容 所長の変更、新入職員紹介、令和元年度作業決算報告、工賃について、年間行事について他

⑧非常事態を想定した危機対応訓練

期日 令和2年7月9日

内容 不審者侵入時対応訓練

⑨避難訓練：2回

期日 令和2年10月15日

内容 消防署立会による訓練

水消火器、通報訓練

期日 令和3年3月3日

内容 自主避難訓練

⑩職員研修：7回

- ・内容 中堅職員研修、接遇研修、感染症予防研修（内部研修）、会計担当者研修、新型コロナ発生後の対応と対策セミナー、人事管理者研修

⑪きいちごだより：4回

- 期日 令和2年5月25日発行  
令和2年8月11日発行  
令和2年12月25日発行  
令和3年3月29日発行

(6) 教育実習：2人

- 期日 令和2年7月6日から17日  
令和2年9月14日から10月2日（10日間）  
内容 埼玉福祉保育医療専門学校より教育実習生受入れ

(7) 苦情・要望

特になし

(8) 事故報告

- 4月24日 送迎中の車両事故発生  
車両損傷、けが人なし  
8月4日 送迎中の車両事故発生  
車両損傷、けが人なし

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・新型コロナウイルス感染症が広がる中、施設全体で感染防止対策に取り組み、事業を継続し利用者が安心して通所できる環境を整備することに力を注いだ。
- ・6月に1人の退所者があったが11月には新規利用者を1人契約することができた。

<課題>

- ・指定管理事業が3年を経過する中で20人の定員を満たすことに早期に取り組みつつ利用者家族のニーズとして強い要望のある日中一時支援事業開始に向けての準備を進めていく。

## 7 障害者相談支援事業

障害者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体状況や環境に応じて、利用者等の選択に基づき適切な障害福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう支援をします。

### (1) 相談支援利用者数

※数値は相談支援を行った方の主たる障がい

	身体障がい	知的障がい	重症心身障がい	精神障がい	実人数
障がい者	10	48	5	19	82
障がい児	4	3	4	0	11
計	14	51	9	19	93

期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

### (2) サービス等利用計画作成実績

計画作成 91件、モニタリング 390件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画作成	7	5	8	5	7	10
モニタリング	31	32	37	37	30	29
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	5	11	18	6	6	3
モニタリング	33	28	23	32	39	39

### (3) 支援方法

	訪問	来所	同行	電話等相談	個別支援会議	関係機関	合計
件数	372	115	11	1,445	71	15	2,029

### (4) 会議・研修等への参加

相談支援連絡会議

6月26日、7月10日、9月11日、11月13日、12月18日  
2月18日、3月18日

強度行動障害支援者養成研修（基礎編）

10月3～4日

強度行動障害支援者養成研修（実践編）

10月10～11日

毛呂山特別支援学校移行支援会議

3月16日

(5) 自立生活援助

契約件数 2件 終了1件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1	1	1	2	2	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	2	2	1	1	3

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・頻回なモニタリングを行うことにより、連携の取れたサービス提供が行えている。また自立生活援助事業を行い、本人の地域での自立した生活に向けて支援を行い、個人ごとに必要な支援の構築が拡充されつつある。

<課題>

- ・今回地域の特定相談支援事業所が閉鎖となり、計画相談の移行依頼があったが件数的に難しく、数件の受入れとなった。地域的にもまだまだ計画相談の必要性があり、また連携の取れた支援をコーディネートして行くためには細やかな対応が求められている。人員体制の整備が必要である。

8 鶴ヶ島市障害者  
基幹相談支援セ  
ンター（鶴ヶ島市受託  
事業）

地域における相談支  
援の中核的な役割を  
担う機関として鶴ヶ  
島市障害者基幹相談  
支援センターを設置  
し、地域の相談支援の  
向上を図り、障がい者  
及び障がい児並びに  
その保護者等の地域  
における生活を支援

(1) 相談支援実績

①相談支援を利用している等の人数

	身体 障がい	重症心身 障がい	知的 障がい	精神 障がい
障がい者	3	0	30	55
障がい児	1	0	4	3
計	4	0	34	58

	発達 障がい	高次能機能 障がい	その他	実人数
障がい者	0	0	5	93
障がい児	0	0	1	9
計	0	0	6	102



し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ります。

②支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話等
件数	159	251	61	301
	個別支援 会議	関係機関	その他	合計
件数	32	0	225	1,029

(2) 障害者就労支援実績

	身体 障がい	知的 障がい	精神 障がい	その他	合計
登録者数	12	53	61	0	126
就労者数	7	47	41	0	95

(3) 会議・研修等

①相談支援連絡会議

実施回数	延参加人数	会議内容
7回	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉課からの事務連絡</li> <li>・各事業所からの実績報告</li> <li>・基幹センターからの情報提供</li> <li>・協議会の状況報告</li> </ul>

②鶴ヶ島市障害者支援協議会

期日	回数	延参加 者数	協議事項
全体会	2回	24	・くらし部会およびまちづくり部会の 取り組み報告
くらし部 会	3回	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援について</li> <li>・農福連携について</li> <li>・就労継続支援B型事業所の状況確認</li> </ul>
まちづく り部会	5回	69	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育体制の検討</li> <li>・放課後等デイサービス連絡会</li> </ul>
事務局会 議	8回		・全体会および部会の内容について

※まちづくり部会については放課後等デイサービス連絡会を含む

※くらし部会については、就労継続支援B型連絡会を含む

③その他研修等

	延参加回数
所内での事例検討・スーパービジョン等	31回
制度・政策等に関するもの	9回
相談支援スキルの向上に関するもの	9回

(4) 普及・啓発・地域支援

	延実施回数
市内相談支援事業所巡回訪問	5回
他機関会議・技術協力	4回
相談支援に関する研修の開催	2回
視察・研修生等受入	12回

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・感染予防対策を行った上で、可能な限り対面での個別相談を実施することができた。また定期的に電話連絡等を行うことで、相談者との関係性の継続を図ることが出来た。
- ・地域生活支援拠点を設置したことで、緊急対応が求められる相談者への対応を行うことが出来た。
- ・障害福祉サービス等だけでは解決できない複合的な課題を抱えている相談者が増加傾向にあり、継続支援が必要となるケースも増えてきている。

<課題>

- ・地域の相談支援事業所及び障害児相談支援事業所が不足しており、セルフプランでの対応者が増加している(令和2年度市内の相談支援事業所1ヶ所が閉所)。
- ・市内相談支援事業所の相談支援専門員のスキルの差が生じており、質の向上に向けた地域支援を検討していくことが必要である。
- ・令和5年度末までに児童発達支援センターの設置が求められているが、具体的な話し合いが行われていないため、鶴ヶ島市におけるセンターの在り方について協議が必要である。
- ・就労相談について近隣市町と比較しても活発な動きとなっており、就労支援員1人の体制に限界が生じているため、増員が必要である。

9 鶴ヶ島市生活困窮者自立相談支援センター(鶴ヶ島市受託事業)

生活困窮者ひとりひとりに応じた包括的な相談支援やそれを支える地域の基盤整備(関係機関・地域のネットワークづくり、職場や活動の場の開拓等)を行うため、鶴ヶ島市生活困窮者自立相談支援センター(生活困窮者自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談支援事業、被保護者就労支援事業、被保護者就労準備支援事業)を設置・運営します。

(1) 生活困窮者自立支援事業 個別相談活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規相談受付件数 (本人未特定を含む)	5	9	10	26	40	40
(うち)本人特定のみ (本人同意なしを含む)	4	9	10	26	40	40
(うち)本人特定のみ (本人同意ありのみ)	2	0	4	15	29	29

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
新規相談受付件数 (本人未特定を含む)	32	30	17	18	11	54	292
(うち)本人特定のみ (本人同意なしを含む)	32	30	17	18	11	54	291
(うち)本人特定のみ (本人同意ありのみ)	29	29	16	13	10	48	224

(2) アウトリーチ支援 活動実績

- ①登録者数/23人
- ②支援方法(延べ)/368件(電話157件、訪問99件他)
- ③相談者の内訳/本人213人、親55人、関係機関97
- ④支援件数
  - ・個別支援/459件  
(助言・情報提供306、関係づくり101件他)
  - ・地域支援/56件  
(広報・普及啓発14件、居場所づくり30件他)/
- ⑤その他/ひきこもり支援導入研修会開催 8月31日  
参加者:延べ40人(1部10人、2部16人、3部14人)

(3) 就労支援 活動実績

- ①生活困窮者就労支援
 

登録者	29人
相談件数	233件(延べ)
就労者数	15人

②被保護者就労支援事業	登録者	21人
	相談件数	131件（延べ）
	就労者数	8人
③生活困窮者就労準備支援	登録者	8人
	相談件数	123件（延べ）
	就労者数	2人
④被保護者就労準備支援	登録者	22人
	相談件数	137件（延べ）
	就労者数	9人
⑤企業開拓	連携企業	59社
		（うち新規企業19社）

（4）会議等の開催・啓発・事業

- ・ 支援調整会議：12回（定例会議は原則毎月1回実施）
- ・ その他事業説明や連携会議への出席：11回
- ・ 他機関開催の調整会議等への出席：11回  
（要保護児童対策地域協議会含む）
- ・ 視察対応：11回（厚生労働省・埼玉県・志木市など）

（5）研修・人材育成

- ・ 所内での事例検討・スーパービジョン 2時間/週
- ・ 所外研修への派遣  
埼玉県主催相談支援機関研修（アウトリーチ支援・就労準備支援等）  
埼玉県社会福祉協議会主催研修（就労準備支援等）  
埼玉県あんしんセーフティネット相談員研修  
埼玉県精神保健福祉センター CRAFT グループ

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・ 新型コロナウイルスの影響により失業、減収した方への相談窓口として機能を果たした。
- ・ 住居確保給付金や生活福祉資金貸付に関連する相談支援及び令和2年度からスタートしたアウトリーチ支援における、ひきこもり状態にある方への相談支援を実施した。
- ・ ひきこもり状態にある方への市の関係課との連絡会議の体制整備を

図ることができた。

- ・就労準備支援事業で実施している農業活動の参加率が上昇している。

<課題>

- ・新型コロナウイルスの影響等により増加した相談者に対する就労の場の確保と就労準備支援の活動メニューの検討が必要である。
- ・困難な状態にある方に対応する相談員のスキルアップと生活困窮状態にある方の関係者の理解が必要である。

IV	公益事業の実施
事業計画・概要	事業実施状況
<p><b>1 障害者喫茶コーナー運営事業</b> <b>(鶴ヶ島市補助事業)</b></p> <p>障がい者と市民の交流の場、また障がい者の就労の場として、喫茶コーナーを運営し、自立支援と社会参加を支援します。</p>	<p>(1) 設置場所 市役所 6階喫茶コーナー</p> <p>(2) 営業時間 午前9時～午後4時30分 (休日 土曜・日曜・祝日・市庁舎休業日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み 令和2年8月8日～8月16日まで</li> <li>・年末年始休業 令和2年12月26日～1月6日まで</li> <li>・緊急事態宣言に伴う営業時間の変更 令和2年4月8日～5月29日まで</li> </ul> <p>(3) スタッフ (障がい者) 3人</p> <p>(4) 支援員 2人</p> <p>(5) 新メニューの開発と提供 4月 セットメニュー見直し 6月 カレーフェア 8月 縁日セット 10月 ハロウィーンセット 12月 クリスマスセット</p> <p>※その他、期間限定メニューの販売を実施</p> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食スペースの縮小や感染対策が求められたが、可能な範囲で対応することが出来た。</li> <li>・スタッフ (障がい者) の工賃等の見直しを行うことが出来た。</li> <li>・授産品等を納品している事業所等と、委託販売契約の締結を図ることが出来た。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は様々なイベントが中止となったため、スタッフの活動の場が狭まってしまった。</li> <li>・スタッフ (障がい者) とその家族の高齢化に伴い、生活状況や勤務状況にも変化が出てきている。</li> </ul>

・他事業において支援している利用者の、一時的な社会参加の場として活用を検討していく必要がある。

**2 権利擁護支援・法人後見事業  
(鶴ヶ島市補助事業)**

判断能力の不十分な人が地域で安心して生活していくために、権利擁護のための相談支援や成年後見制度の利用を総合的に支援します。成年後見が必要でありながら、制度の利用に結びつかない方にも財産や権利が守られるよう、社会福祉協議会が後見人等の受任を行います。また、市民後見人養成講座の修了者に後見支援員として法人後見の事務補助を行っていただき、自立した市民後見人を目指して知識や経験を習得する場を提供します。

(1) 権利擁護相談支援・法人後見事業

① 相談件数等

実人数 34人

権利擁護相談・支援方法 (件数)

電話	訪問	事務所	同行	個別支援	関係機関	その他	合計
80	53	22	1	0	2	2	160

権利擁護相談・内容及び対応 (内訳)

相談・対応内容	件数
成年後見制度に関する事	22件
法人後見に関する事	2件
その他制度に関する事	43件
生活に関する事	28件
財産に関する事	24件
権利擁護に関する事	10件
その他	31件
合計	160件

法人後見相談・支援方法 (件数)

電話	訪問	事務所	同行	個別指導	関係機関	その他	計
204	81	29	1	2	47	91	455

法人後見相談・内容及び対応 (内訳)

相談・対応内容	件数
身上監護に関する事	171件
財産管理に関する事	78件
事務に関する事	114件
その他	92件
合計	455件

②権利擁護支援センター運営委員会

第1回 期日 令和2年7月22日

第2回 期日 令和2年9月23日

内容 事業実施状況報告、受任者個別ケースについて

③法人後見事業

継続受任 8件（後見類型4、保佐類型3、補助類型1）

新規受任 0件

申請中案件 1件

受任審査中案件 0件

後見終了 1件

---

合計 10件

【事業の成果及び今後の課題】

<成果>

- ・相談実利用人数については前年度と比べ、34人と7人増加しているが、権利擁護相談の対応件数が新型コロナウイルスの影響もあり、件数の減少がみられた。
- ・法人後見受任者として新規2人を受任し、後見業務に取り組んでいる。

<課題>

- ・権利擁護相談は単発相談が多く、継続的な対応に至らなかったため、今後相談後のフォローアップを行う必要がある。

3 市民後見推進事業（鶴ヶ島市受託事業）

市民が後見人等を受任し、財産管理や身上監護を行う市民後見人を養成し、活動を支援します。

(1) 市民後見推進事業

①市民後見人フォローアップ研修

期日 令和3年2月11日

場所 市役所5階 会議室

内容 PAS ネットの取り組みと成年後見制度

講師 福島健太氏 特定非営利活動法人 PAS ネット理事長

S I N法律労務事務所 弁護士

※緊急事態宣言発令を踏まえ急遽中止。



**4 市民後見人等  
養成事業（鶴ヶ島市受  
託事業）**

市民後見人養成講座  
を開講します。また、  
修了者等へのフォロー  
アップとなる研修  
を実施します。

(1) 市民後見人等養成事業（基礎編）

受講者 14人

①期日 令和2年11月7日

場所 市役所5階 会議室

内容 成年後見制度概論・各論

講師 弁護士 林真由美 氏

②期日 令和2年11月15日

場所 市役所5階 会議室

内容 市民後見概論

講師 司法書士 杉田裕介 氏

③期日 令和2年11月22日

場所 市役所5階 会議室

内容 民法の基礎（家族法・財産法）

講師 弁護士 林真由美 氏

④期日 令和2年12月5日

場所 市役所5階 会議室

内容 対象者理解（障害者の理解）

講師 東京国際大学 斎藤敏靖 氏

内容 対象者理解（高齢者・認知症の理解）

講師 社会福祉士 坂井達也 氏

⑤期日 令和2年12月13日

場所 市役所5階 会議室

内容 地域福祉の現状と地域福祉・権利擁護の理念

講師 社協職員

内容 市民後見活動の実際とグループワーク

講師 西入間あんしん市民後見の会 河端幸男 氏

**【事業の成果及び今後の課題】**

＜成果＞

・前回の市民後見人養成講座の受講者は5人であったが、今回は14人と9人増加しており、市民への成年後見制度普及に一定程度寄与している。

＜課題＞

・現在、法人後見事業や日常生活自立支援事業の支援員として10人が活動を行っているが、支援員の活動にとどまらず、市民後見人としての活動のサポート方法や体制を整えていくことが必要である。

V	収益事業の実施												
事業計画・概要	事業実施状況												
<p><b>1 葬祭事業</b></p> <p>葬祭に関する不安等の相談に応じるとともに、安心な費用で利用することができる葬祭事業を行います。</p>	<table border="1" data-bbox="544 383 1265 696"> <thead> <tr> <th>プラン</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社協葬祭プラン10</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>社協葬祭プラン20</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>社協葬祭プラン30</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>社協葬祭プラン40</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【事業の成果及び今後の課題】</b></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10万円の低額プランの設定などプランの見直しや、高齢者施設、病院などへパンフレットの配布の効果が徐々に出て、平成30年度の7件から令和2年度は15件と伸びた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設や病院などに社協葬祭の存在を広く知ってもらうことが必要である。</li> </ul>	プラン	件数	社協葬祭プラン10	5件	社協葬祭プラン20	3件	社協葬祭プラン30	7件	社協葬祭プラン40	0件	合計	15件
プラン	件数												
社協葬祭プラン10	5件												
社協葬祭プラン20	3件												
社協葬祭プラン30	7件												
社協葬祭プラン40	0件												
合計	15件												
<p><b>2 自動販売機設置 運営事業</b></p> <p>自主財源の確保を図ります。</p>	<p>設置機種 飲料自動販売機</p> <p>設置場所 ハートホール若葉</p> <p>設置日 平成22年11月</p> <p>設置台数 1台</p>												

VI	共同募金運動の推進																																								
事業計画・概要	事業実施状況																																								
<p>1 赤い羽根共同募金運動の推進</p> <p>2 地域歳末たすけあい募金運動の推進</p> <p>社会福祉法人埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会を設置し、共同募金運動にかかわる市民、団体、事業所等と協力をしながら、「自分のまちを良くするしくみ」としての意識醸成をすすめます。</p>	<p>(1) 運動期間</p> <p>①赤い羽根募金 令和2年10月1日～令和3年3月31日</p> <p>②地域歳末たすけあい募金 令和2年12月1日～令和2年12月31日</p> <p>(2) 募金目標額</p> <table border="1" data-bbox="491 636 1417 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>種別</th> <th>目標額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">埼玉県</td> <td>赤い羽根募金</td> <td>682,000,000円</td> </tr> <tr> <td>地域歳末たすけあい募金</td> <td>316,875,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鶴ヶ島市</td> <td>赤い羽根募金</td> <td>6,399,000円</td> </tr> <tr> <td>地域歳末たすけあい募金</td> <td>1,730,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※募金目標額・・・共同募金は、埼玉県共同募金会が地域の福祉のニーズを受け付け、募金を行う計画募金であり、助成計画に基づいて目標額を設定しています。</p> <p>(3) 募金実績（鶴ヶ島市）</p> <table border="1" data-bbox="491 1153 1439 1467"> <thead> <tr> <th>募金種別</th> <th>赤い羽根募金</th> <th>地域歳末たすけあい募金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>2,552,090円</td> <td>2,425,669円</td> </tr> <tr> <td>その他募金</td> <td>605,714円</td> <td>9,377円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,157,804円</td> <td>2,435,046円</td> </tr> <tr> <td>目標額に対する達成率</td> <td>49.3%</td> <td>140.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 災害義援金（鶴ヶ島市）</p> <p>①取扱い災害義援金</p> <table border="1" data-bbox="491 1621 1436 1930"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>送金先</th> <th>期間</th> <th>累計金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年熊本地震義援金</td> <td>熊本県</td> <td>平成28年4月15日～令和3年3月31日</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>平成30年7月豪雨災害義援金</td> <td>※</td> <td>平成30年7月10日～令和3年6月30日</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>		種別	目標額	埼玉県	赤い羽根募金	682,000,000円	地域歳末たすけあい募金	316,875,000円	鶴ヶ島市	赤い羽根募金	6,399,000円	地域歳末たすけあい募金	1,730,000円	募金種別	赤い羽根募金	地域歳末たすけあい募金	戸別募金	2,552,090円	2,425,669円	その他募金	605,714円	9,377円	合計	3,157,804円	2,435,046円	目標額に対する達成率	49.3%	140.8%	名称	送金先	期間	累計金額	平成28年熊本地震義援金	熊本県	平成28年4月15日～令和3年3月31日	0円	平成30年7月豪雨災害義援金	※	平成30年7月10日～令和3年6月30日	0円
	種別	目標額																																							
埼玉県	赤い羽根募金	682,000,000円																																							
	地域歳末たすけあい募金	316,875,000円																																							
鶴ヶ島市	赤い羽根募金	6,399,000円																																							
	地域歳末たすけあい募金	1,730,000円																																							
募金種別	赤い羽根募金	地域歳末たすけあい募金																																							
戸別募金	2,552,090円	2,425,669円																																							
その他募金	605,714円	9,377円																																							
合計	3,157,804円	2,435,046円																																							
目標額に対する達成率	49.3%	140.8%																																							
名称	送金先	期間	累計金額																																						
平成28年熊本地震義援金	熊本県	平成28年4月15日～令和3年3月31日	0円																																						
平成30年7月豪雨災害義援金	※	平成30年7月10日～令和3年6月30日	0円																																						

平成30年7月豪雨岡山県災害義援金	岡山県	平成30年7月10日～令和3年6月30日	0円
愛媛県豪雨災害義援金	愛媛県	平成30年7月11日～令和3年6月30日	0円
平成30年7月広島県豪雨災害義援金	広島県	平成30年7月12日～令和3年6月30日	0円
令和元年台風15号・台風19号大雨千葉県災害義援金	千葉県	令和元年9月17日～令和2年6月30日	1,809円
令和元年台風第19号災害義援金	※	令和元年10月16日～令和3年3月31日	8,724円
令和元年台風第19号災害義援金	長野県	令和元年10月16日～令和3年3月31日	0円
令和元年台風第19号災害義援金	宮城県	令和元年10月18日～令和3年3月31日	0円
令和元年福島県台風第19号災害義援金	福島県	令和元年10月21日～令和3年3月31日	0円
熊本県南豪雨義援金	熊本県	令和2年7月8日～令和4年3月31日	45,000円
令和2年7月福岡県豪雨災害義援金	福岡県	令和2年7月10日～令和3年3月31日	0円
令和2年7月豪雨災害義援金	※	令和2年7月13日～令和3年3月31日	11,000円
令和2年7月大分県豪雨災害義援金	大分県	令和2年7月13日～令和2年12月28日	0円
令和2年7月豪雨災害義援金	鹿児島県	令和2年7月13日～令和2年12月28日	0円

令和2年7月岐阜 県豪雨災害義援金	岐阜県	令和2年7月14日～ 令和2年9月30日	0円
令和2年7月島根 県豪雨災害義援金	島根県	令和2年7月22日～ 令和2年9月30日	0円
令和2年7月豪雨 災害義援金	長野県	令和2年7月27日～ 令和2年9月30日	0円
令和2年7月佐賀 県豪雨災害義援金	佐賀県	令和2年7月21日～ 令和2年12月28日	0円
令和2年7月山形 県豪雨災害義援金	山形県	令和2年8月5日～ 令和2年12月28日	0円
令和3年2月福島 県沖地震災害義援 金	福島県	令和3年2月24日～ 令和3年5月31日	2,000円

※平成30年7月豪雨災害義援金、令和元年台風第19号災害義援金、令和2年7月豪雨災害義援金は、中央共同募金会を通じて被災県の共同募金会に被災状況に応じて按分の上送金しています。

(5) 募金活動協力者・団体

①戸別募金（赤い羽根募金、地域歳末たすけあい募金）

自治会に協力をいただき、福祉委員を通じて各世帯に募金の協力をお願いした。

第1回福祉委員会議

ア) 期日 令和2年9月17日

場所 つるがしま中央交流センターくれよん、  
市役所5階 会議室

参加 福祉委員または代理人46人

内容 説明事項1 共同募金運動の成り立ちとしくみについ  
て（動画視聴）

説明事項2 赤い羽根募金と地域歳末たすけあい募金  
の集金方法

イ) 期日 令和2年9月18日

場所 下新田第一会館

参加 福祉委員または代理人13人

内容 説明事項1 共同募金運動の成り立ちとしくみについ

て（動画視聴）

説明事項2 赤い羽根募金と地域歳末たすけあい募金の集金方法

ウ) 期日 令和2年9月19日

場所 東市民センター 多目的ホール

参加 福祉委員または代理人25人

内容 説明事項1 共同募金運動の成り立ちとしくみについて（動画視聴）

説明事項2 赤い羽根募金と地域歳末たすけあい募金の集金方法

### ②街頭募金（赤い羽根募金）

市内各団体の奉仕活動として、駅前や店頭等での募金活動の協力を依頼した。

ア) 期日 令和2年10月1日

場所 東武東上線鶴ヶ島駅・若葉駅・坂戸駅、カインズ鶴ヶ島店、ベルクすねおり店、ワカバウオーク、ヤオコー鶴ヶ島店

協力 鶴ヶ島市社会福祉協議会役職員、平成会（23人）  
鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会（60人）

イ) 期日 令和2年10月3日

場所 ワカバウオーク、ベイシア鶴ヶ島店、ベルク鶴ヶ丘店  
協力 鶴ヶ島市赤十字奉仕団（9人）

ウ) 期日 令和2年11月5日

場所 鶴ヶ島市役所庁舎内

協力 鶴ヶ島第一小学校ボランティア委員会、教職員（20人）（順不同・敬称略）

### ③学校募金（赤い羽根募金）

・市内の小・中学校、高等学校に、福祉教育の一環として、児童・生徒の自発的な募金活動への参加について協力をお願いした。

鶴ヶ島第一小学校、鶴ヶ島第二小学校、杉下小学校、長久

保小学校、栄小学校、新町小学校、藤小学校、南小学校、鶴ヶ島中学校、藤中学校、富士見中学校、西中学校、南中学校、鶴ヶ島清風高等学校（順不同・敬称略）

- ・学校へ訪問し、共同募金についての事前学習のサポートを行った。

ア) 期日 令和2年9月16日

場所 鶴ヶ島中学校

参加 鶴ヶ島中学校3年生

イ) 期日 令和2年10月1日

場所 藤小学校

参加 藤小学校ボランティア委員会

#### ④職域募金（赤い羽根募金）

行政、福祉関係者・団体等の職域に、クオカード及び図書カード等の資材を活用しながら、協力をお願いした。

資材：図書カード 128枚、クオカード 189枚、募金バッチ 113個

協力：鶴ヶ島視覚障がい者の会「アイネット」、鶴ヶ島市手話通訳問題研究会「折鶴会」、鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会、お手玉体操、声なびシネマわかば、北地域支え合い協議会、杉下地域支え合い協議会、NPO法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会、サザン地域支え合い協議会、西部地域支え合い協議会、富士見地域支え合い協議会、鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会、鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会、特別養護老人ホーム鶴ヶ島ほほえみの郷、埼玉縣信用金庫鶴ヶ島支店、埼玉りそな銀行鶴ヶ島支店、武蔵野銀行鶴ヶ島支店、(株)ニューフジフーズサービス、鶴ヶ島市赤十字奉仕団、鶴ヶ島市役所職員、鶴ヶ島市社会福祉協議会役職員、その他、多くの市民の方々（順不同・敬称略）

#### ⑤個人大口・法人募金（1万円以上）

新井慶司、田中八束、諸井純子、(株)長峰園、正法寺、(有)鈴幸、匿名1法人、2人（順不同・敬称略）



⑥赤い羽根自動販売機の設置

飲み物を購入すると、その売上の一部が飲料メーカー等から赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機です。

鶴ヶ島市内設置場所 埼玉縣信用金庫鶴ヶ島北支店 1台

⑦募金箱の設置、ポスターの掲示、街頭募金実施場所などの協力

鶴ヶ島自動車教習所、東武東上線坂戸駅、東武東上線鶴ヶ島駅、東武東上線若葉駅、ワカバウォーク、カインズ鶴ヶ島店、ベイシア鶴ヶ島店、ベルクすねおり店、ヤオコー鶴ヶ島店、いるま野農業協同組合鶴ヶ島支店、特別養護老人ホームみどりの風鶴ヶ島、鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会、シルバー人材センター、つるがしま中央地域支え合い協議会、鶴ヶ島市役所若葉駅前出張所、各地域包括支援センター、各保育園、各幼稚園（順不同・敬称略）

(5) 埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会理事会

①第1回支会理事会

期日 令和2年5月14日

出席 理事9人、監事2人

内容 議案第1号 令和元年度社会福祉法人埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会事業報告の承認について

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面表決により実施

②第2回支会理事会

期日 令和2年7月28日

出席 理事8人、監事1人

内容 議案第1号 令和2年度社会福祉法人埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会会計補正予算(第1号)について

③第3回支会理事会

期日 令和3年3月18日

出席 理事8人、監事2人

内容 議案第1号 令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会

鶴ヶ島市支会事業計画について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会  
鶴ヶ島市支会社会福祉事業会計予算について

**【事業の成果及び今後の課題】**

<成果>

- ・啓発活動として、共同募金のしくみや成り立ちを説明する動画を作成することにより、地域の方へ共同募金が「じぶんのまちをよくするしくみ」であることの理解を深めてもらっている。
- ・市内の小・中学校で、共同募金の意義や成り立ちを説明することにより、子どもたちが募金したお金の使いみちを知り、「福祉」や「寄付」の大切さを学習している。

<課題>

- ・コロナ禍による緊急事態宣言が発令され、自治会の集まりや回覧の回数が減少し、結果として募金額が減少したため、街頭募金や戸別募金の呼びかけ時に、感染対策の工夫をしながら募金額を増やす必要がある。

VII	鶴ヶ島市赤十字奉仕団事務局
事業計画・概要	事業実施状況
<p>1 鶴ヶ島市赤十字奉仕団事務局</p> <p>鶴ヶ島市赤十字奉仕団事務局を運営します。</p>	<p>(1) 会議、検討会、の実施</p> <p>①総会</p> <p>期日 令和2年4月21日</p> <p>出席 31人</p> <p>内容 議案第1号 令和元年度鶴ヶ島市赤十字奉仕団事業報告及び収入支出決算及び監査報告事項について</p> <p>議案第2号 令和2年度鶴ヶ島市赤十字奉仕団事業計画(案)及び収入支出予算(案)について</p> <p>※今年度の総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から書面議決により実施</p> <p>②役員会 5回 延べ52人</p> <p>③コロナ禍における災害時炊き出し検討会、振り返り(深谷市) 2回 延べ6人</p> <p>(2) 寄付実績</p> <p>①バザー等実施による寄付 5回 合計57,300円</p> <p>②牛乳パックで作る足置き台 2回 延べ15人</p> <p>(3) 社会福祉奉仕活動</p> <p>①特別養護老人ホーム奉仕活動 4回 延べ11人</p> <p>②自主縫製作業 2回 延べ21人</p> <p>③献血奉仕活動 4回 延べ16人</p> <p>④依頼事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴ヶ島市立西中学校での福祉教育 2回 延べ協力者 3人 内容 日本赤十字社・奉仕団の活動報告、災害図上訓練(DIG)等の体験等</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラム(団体プログラム) 内容 「おうちで防災」、「エコバッグづくり」の企画 参加者 延べ35人</li> </ul>

・赤い羽根共同募金運動 街頭募金 3回 延べ9人

(5) 事務局便り

令和2年7月から事務局便りを作成し、奉仕団員全員に配布することにより活動状況等を周知

延べ発行回数 6回

**【事業の成果及び今後の課題】**

<成果>

- ・日本赤十字社や埼玉新聞、日本赤十字社埼玉県支部の刊行物等に日頃の活動が掲載されるなど、鶴ヶ島市民に寄り添う奉仕活動が評価された。

<課題>

- ・全団員が何かに参加してくれること、団の奉仕活動に興味を持てるように工夫をし、奉仕団として誇りを持てるように検討する必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が縮小しているため、活動可能な対策を講じながら、必要なことを引き続き実施していく必要がある。